

▼26聖人殉教記念ミサ
2月4日(日) 14時
西坂公園(雨天 中町教会)
▼司祭助祭叙階式
2月11日(日) 15時
浦上司教座聖堂
▼選任式
2月9日(金) 10時半
福江教会

発行所 カトリック長崎大司教区 広報委員会
発行人 中田 輝次
〒852-8113 長崎市上野町10-34
カトリックセンター内
TEL095(843)3869
FAX095(843)3417
郵便振替番号 01880-5-2699
カトリック長崎大司教区ホームページ
http://www.nagasaki.catholic.jp



1月・教皇さまの意向のために祈りましょう
①一般の意向：民族間の平和と融和
②宣教の意向：アフリカの教会：和解と平和
③日本教会の意向：教会一致を目指して

2006・ザビエル祭

ザビエル年から新たな宣教年へ

教区の年間テーマに掲げた「ザビエル年」を締めくくる「2006・ザビエル祭」が、昨年12月2日と3日にかけて平戸文化センターを会場に行われた。3日には会場までの祈りの行進と高見三司教主司式によるミサが行われ、2日には「オペラ・ザビエル」が上演された。



3日のザビエル年最後を飾る閉年ミサは、平戸市の「交流広場」からの行列で始まった。「みことばをたずさえて行列しましょう」という呼び掛けを合図に、みことばの横断幕を手を九州一円と東京からやってきた巡礼団、平戸地区の各小教会、教区内の参列者がザビエルの思いを胸に行列に加わった。

平戸文化センターでの閉年ミサ「写真」の説教で高見大司教は、「聖霊

は、証しをする人にも働くが、伝えようとすると手にも働いている。神がすべての人に働いている

《2007年 年頭教書》

188殉教者列福式と長崎邦人司教区80周年

大司教 高見 三 明

教区の信徒、男女修道者、修練者、志願者、神学生、助祭、司祭の皆さん、新年明けましておめでとうございませう。昨年中のご交誼、ご協力とご支援に心から感謝致します。

昨年、は聖フランシスコ・ザビエルの生誕500年を記念して宣教年間「2006・ザビエル年」をおかげさまで有意義に過ごすことができました。神さまと皆さんに感謝致します。

さて今年、ペトロ岐部と187殉教者列福式が長崎で行われる予定です。同時に、長崎が邦人司教区として設立されて80年になります。そこで、今年、殉教と潜伏の時代を経て、復活し、以後今日まで発展してきた日本とくに長崎の教会の歴史に学びつつ、理想を目指して堅実な歩みをさらに一歩進めたいと願っております。

1. ペトロ岐部と

187殉教者列福式の長崎開催

今年長崎で行われる予定の188殉教者の列福式は、列聖式を含めて、日本の教会史上初めて日本の



ミサの会場まで行列する巡礼団

(細岡雅哉、バス・バトリオン)が来日して苦難の中の布教活動を縦軸に、最後はザビエルが能楽の「して」(主人公)として舞台から去るといふ、日本とヨーロッパの最初の懸け橋となったザビエルを3幕で公演した。「東京公演と違い、平戸公演の合唱隊は地元の信徒が大半出演し、信仰的なつながりができずばらしい公演だった」と東京からの巡礼団と同行したカトリック中央協議会事務局・前田万葉神父(前平戸地区長)は語った。

ザビエル祭参加者の川上武夫さん(平戸地区評議会議長)は「県内外から集まった人々とともにザビエルの立ち寄った平戸で記念ミサを行うことができました。ザビエルがまいた種が途絶えないよう、みんなで誓った決意表明と宣言をこれからの世代にも語り続けた」と語った。

川端志範神学生(長崎コレジオ3年)は「平戸ザビエル祭を通していろいろと学ぶことができた。世界中で事件が絶えず、混乱の渦の中にあるこの社会で本当の幸せ、人を大事にするこの素晴らしい、大切さをもう一度人間は思い出さなければいけないと思いました」と答えてくれた。



上演された「オペラ・ザビエル」

ザビエルミュージカル

佐世保地区では大村市を加え、ミュージカル「ザビエル」はあなただけの中に生きている。が、去る12月1日、佐世保市民会館、2日大村植松教会信徒会館、3日神崎教会の3カ所で公演され、延べ人数1500人を集めた。



まで活動を展開した。ある教会では小学生にお友達券が配られ一緒に参加したところもあった。ミュージカルは、ザビエルの生涯をたどりながら、次々と襲う試練と悪魔の誘惑に、守護の天使に守られながら神の導きに信頼し続ける彼の生

短く、宣教をテーマに出来るだけ多くの一般人や小中高生に観てもらえるようにと、多くの信徒が草の根的にぎりぎり準備期間が2ヵ月半と

エルを生きた人々の思いが今も脈々受け継がれている。す」との天使の最後の言葉は、信徒に大きな勇気を与え涙ぐむ人がたくさんいた。

主演のザビエルから流れる言葉はまさに宣教者であり、彼のカリスマを団長・団員が見事に受け止めて、佐世保の信徒が自分の出来るカリスマを生かして、キリストの愛と生きる力が人々に分かち与えられた未来につながるすばらしい公演だった。

た。早坂司教さまは、同年10月ローマでピオ11世教皇さまによって叙階され、翌年4月着座しました。今年、日本人司教区として独立した恵みと意義をもう一度考えると同時に、その基礎を築いてくださったパリ外国宣教会の神父さま方に感謝の意を表したいと思っています。そのために記念ミサ、講演会、巡礼などを企画しています。なお、長崎教区は、邦人教区として人事だけでなく経済の面でも自立の道を歩んできましたが、経済のいっそうの健全化が必要で、まず司祭団、そして修道会や信徒の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

3. 参加し交わり宣教する教会を目指して
以上の2つのテーマを軸にして、教区の皆さんには、小教会・地区・教区の評議会、経済評議会、婦人会や修道女連盟、青年会などで連携しながらさまざまなレベル、さまざまな形で、参加し、交わり、宣教する教会を目に見るものとしていただきたいと思っています。

願わくは、わたしたちのこの1年が聖母のご保護のもとと聖霊に導かれ、主キリストにおいてよい実りをもたす年となりますように。

今年の年頭教書は小冊子にして各家庭に配布されることになりました。ここにはその要約を掲載します。詳しくは小冊子をぜひお読みください。

聖ルドヴィコ神学院創立50周年

神言修道会の小神学校である聖ルドヴィコ神学院(松本勝男院長)が、創立50周年を迎え、11月18日夕方、記念ミサ(高見大司教司式)と祝賀会が行われた。



祝賀会では、現役の神学生や卒業生たちの楽しい出し物があり、また、翌日の記念ミュージカルのメンバーも駆けつけて

この日のために卒業生有志でラテン語の聖歌を特訓し、聖堂内に美しい歌声を響かせた。説教台に立った市瀬英昭神父(神言修道会日本管区長・70年

ミサ後、体育館で行われた祝賀会では、現役の神学生や卒業生たちの楽しい出し物があり、また、翌日の記念ミュージカルのメンバーも駆けつけて

お祝いに花が添えられた。会の途中には長崎南山学園の関係者全員がステージに上がって校歌を歌い、南山ファミリーの絆もいっそう強まった。

列福式に向けて

大司教 高見 三朗



高見大司教 (雲仙地獄の殉教者記念碑前で)

史料からだけでも5千人はくだらないとされる日本の殉教者の中で、これまで42人が聖人に、205人が福者にあげられています。彼らの中には外国人の宣教師や修道士が多数含まれています。今度新たに列福される188人の殉教者は皆日本人です。殉教地も、米沢(山形)、江戸、京都、大阪、広島、山口、小倉、大分、八代、天草、薩摩、長崎(生月)、有馬、雲仙、西坂)と、全国に広がっています。司祭はわずか4人で、ほかは信徒、しかも夫婦と息子や娘たち、身分や職業も侍、伝道士、召し使いなどさまざまです。彼らは禁教令が出る前の1603年から取り締りが厳しくなっていた1639年までの間に殉教しました。司祭が徐々にいなくなる中で、受けた教えにしっかりと踏みとどまり、極限の苦しみを経ながら最後まで自分の信仰を貫き通したのです。彼らは皆、神こそすべてであり、永遠の命すなわち愛は死より強いということを、壮絶かつ見事に証しました。彼らの「命を懸けた証」は、どれをとっても今のわたしたちの模範となるのです。

列福式は教皇さまによる列福宣言を公にする儀式です。現地主催者は日本司教協議会ですが、会場になる長崎教区が「列福式実行委員会」を中心に直接準備に携わることになります。教区の皆さんの寛大な致協力が不可欠です。どうぞよろしくお願い致します。特に大切なことは、わたしたちが、列福式を準備する中で一人ひとりの殉教者の「命を懸けた証」をよく見て何かを感じ取り、それが列福式後にも恵みとしてわたしたちの生活の中で働き続けるようになることです。



写真 列福者の審査が行われた教皇庁

はじめに働かれた神は

信仰を貫き、伝えることはいづかの時代も、湖上を歩く(マタイ14・29)のと同じです。「貧しさの自覚」と「深い信頼」が、その歩みを支えます。多くの日本人の心と魂に、血の通った福音を届けた「感化力を持った教会」がありました。メンツや体裁とは無縁の、すべてをささげた殉教者を(きんぐ)んだ「成熟した教会」がありました。司教・司祭不在の、長い沈黙の中で、250年信仰を連綿と伝えた「自律した教会」がありました。よその国のことではありません。日本の教会に刻まれた豊かな記憶です。

カトリック教会は、日本の9教区(長崎、福岡、大分、鹿児島、広島、大阪、京都、東京、新潟)の188人の殉教者を「信仰の模範者」として公に認めました。それは昔の美談や信仰の武勇伝を語るときではありせん。今の日本の教会に自信と活力を取り戻させるためです。当時の各教会を代表する殉教者たち。その大半は信徒です。彼らが証しするのは、自分を生かしたキリストのこと、感化力を持った、成熟し、自律した日本の教会のことです。

家庭とは何か? 信仰を育むとは? 女性の使命とは? 癒やす教会とは? 気骨ある司祭とは? 殉教者を育んだ教会は、苦悩する今の私たちの行く手を示して(マタイ2・9)くれます。すべての信仰の歴史は、いつも、今を照らすからです。「殉教者たちの英雄的な証」は、日本の教会の過去を飾るだけではなく、今の日本のキリスト信者の歩むべき道と、将来の使命と約束を示しています(ヨハネ・パウロ2世)。日本の教会に「光あれ」(創世記1・3)と言われて、はじめに働かれた神は、今も確かに働いておられます。

(教区殉教者列福推進委員長 古巣 肇)

「キリスト者の生き方」学び、導き願う

長い年月を費やして準備した188殉教者の列福式は、長崎で行われる予定で、16人が列聖されています。殉教者の資料の収集、聞き取り調査、列福審査の作成など、日本殉教者の列福運動に熱心に取り組んできた多くの人々の努力が、いよいよ実を結ぶことになる。鎖国政策が解かれ、日本の教会の再出発を願って、ローマは1862年に26人を列聖し、1867年には205

188殉教者列福式、長崎市で開催予定

島原・雲仙の殉教者

雲仙では1627年から1632年まで印象的な殉教の歴史がある。時には集団として、ある時は一人か二人のキリスト者が責め苦を受けた。1632年12月、5人の宣教師は熱湯で

トマス次兵衛は1600年頃、大村に生まれ、信者であった両親とクラは後に殉教したと伝えられる。幼くして自発的に有馬のセミナリヨに入り、卒業後イエズス会の同宿として務めたが、1614年、宣教師とともにマカオに追放された。1620年日本に戻り、その2年後、マニラに渡ってアウグスチノ会に入会した。

トマス金鐐次兵衛神父

セブ島で司祭に叙階されてフィリピンで活動し始めたが、迫害下で苦しむ日本の教会に戻りたいという方法を探った。1631年、待に変装して日本に帰ることに成功し、長崎奉行所の馬丁になりすまし、そこからクルス町の牢にいた宣教師や信者を訪れ、至る所秘跡を授けた。



殉教者たらば、今の日本のキリスト者の歩むべき道と、将来の使命と約束をも示しています。(ヨハネ・パウロ2世)



ジュリアン中浦はローマへの使節、殉教の教会の司牧者、神の愛の証し人である。ジュリアンは1568年、長崎の西海町中浦に生まれ、64年後、その豊かな生涯は六吊りの責めで終わった。氣丈で温かい心の少年ジュリアンには大きな夢があった。それはローマへ行って、教皇さまに会うことであった。しかしその夢の瞬間が現実となった時、ジュリアンは重い病にかかっていた。皆の反対を押しのけてグレゴリオ13世に接見に行った。熱で震える少年と感激の涙を流す年配の教皇との対面は、使節の歴史の1つのハイライトである。

ジュリアン中浦神父

1591年、天草でイエズス会に入会してコレジョで勉強を終了し、イルマンとして活躍しはじめた。ジュリアンは最初

西坂の殉教者 ミカエル薬屋 ニコロオ福永ケイアン

1633年7月28日のこと。疲れ果てた顔をした男が西坂の丘を後ろ手に縛られ、役人らに見張られて歩を進めるのは西坂で殉教した、ミカエル薬屋とイエズス会のイルマン・ニコラオ福永ケイ



ロザリオを唱え雲仙殉教者記念碑へ向かう信徒

1613年10月7日、有馬家の本城であった日野川の前を流れる有馬川のほとりに火あぶりの刑を受ける3人の武士と、その家族とともに2万人の信者が折っていた。参集した人々に向かって、殉教者の1人レオ武富は次のように宣言した。「こ

有馬の殉教者

れで有馬の信者の信仰が分かるであろう。この殉教は、地元教会を代表する殉教者と殉教者を支援する教会全体の団結を見事に表している。有馬の教会は、キリシタ

188 殉 教 者				
	主 な 殉 教 者	殉教年月日	殉教地	
1. 八代の殉教者	11人 ヨハネ南五郎左衛門 シモン竹田五兵衛 ヨアキム渡辺次郎右衛門 ミカエル三石彦右衛門	1603.12. 8 1603.12. 9 1606. 8.16 1609. 2. 4	熊 本 代 八 〃 〃 〃	
2. 山口の殉教者	2人 メルキオール熊谷豊前守元直 ダミアン	1605. 8.16 1605. 8.19 1608.11.17	萩 山 口 〃 〃	
3. 薩摩の殉教者	1人 レオ税所七右衛門	1609.11.14	生 月	
4. 生月平戸の殉教者	3人 ガスパル西玄可	1613.10. 7	南 島 原	
5. 有馬の殉教者	8人 アドリアノ高橋主水	1614. 6. 5	富 岡	
6. 天草の殉教者	1人 アダム荒川	1619.10. 6	京 小	
7. 京都の殉教者	52人 ヨハネ橋本太兵衛	1619.10.15 1619.10.15 1619.10.15	都 倉 會 〃 〃	
8. 小倉・熊本・大分の殉教者	18人 ディエゴ加賀山準人 バルタザル加賀山半左衛門 小笠原玄也	1627. 2.21 1627. 2.28 1627. 5.17	原 仙 〃 〃	
9. 江戸の殉教者	1人 ヨハネ原主水	1623.12. 4	江 戸	
10. 広島	3人 フランシスコ遠山甚太郎 マチアス庄原市左衛門 ヨアキム九郎右衛門	1624. 2.16 1624. 2.17 1624. 3. 8	江 廣 〃 〃 〃	
11. 島原・雲仙の殉教者	29人 バルタザル内堀 パウロ内堀作右衛門 ヨアキム峰助太夫	1627. 2.21 1627. 2.28 1627. 5.17	島 原 雲 〃	
12. 米沢の殉教者	53人 ルイス甘糟右衛門	1629. 1.12	米 沢	
13. 長崎の殉教者	3人 ミカエル薬屋 ニコラオ福永ケイアン ジュリアン中浦(司祭)	1633. 7.28 1633. 7.31 1633.10.21	長崎西坂 〃 〃	
14. 大阪の殉教者	1人 ディオゴ結城了雪(司祭)	1636. 2.25	大 阪	
15. 長崎の殉教者	1人 トマス金鐐次兵衛(司祭)	1637.11. 6	長崎西坂	
16. 江戸の殉教者	1人 ベトロ岐部かすい	1639. 7	江 戸	

に育てられた。ロザリオの聖母の祝日の殉教は、以後の数多くの殉教者を代表するものである。アドリアノ高橋主水、レオ林田、レオ武富の3人の武士は、信仰を棄てるように命じられるとき、リストと教会に対しては強い忠誠を示した。



写真レオ林田ら8人の殉教地・有馬山

彼らと一緒にその家族レオ武富の息子パウロ、アドリアノの妻ヨハナ、レオ林田の妻マルタとその子グダレナとディエゴはうやうやしく命をささげた。マダラナ19歳は神に貞潔をささげた。ディエゴ12歳は有馬の「少年達の殉教の組」の

を組むガスパル西玄可といふ理由で妻と幼児とともに処刑されるなど、ガスパル西とウルスラは家族全員を導き育て、神にささげた。

衛門も兄に宿を提供したという理由で妻と幼児とともに処刑されるなど、ガスパル西とウルスラは家族全員を導き育て、神にささげた。



ガスパル西玄可とその家族 生月の殉教者 ガスパル西玄可といふ理由で妻と幼児とともに処刑されるなど、ガスパル西とウルスラは家族全員を導き育て、神にささげた。

ガスパル西は磔(はりつけ)を望んだが奉行は拒否した。せめて黒瀬の近くに生月の信者の伝道

殉教者を想い、ともに祈る週間 - 188殉教者の列福に向けて - 「8日間の黙想と祈り」2月4日~11日

参考資料 「愛の証」カトリック中央協議会 殉教者列福調査委員会 「わたしは模範を示した」長崎大司教区 殉教者列福推進委員会 「ヨハネ・パウロⅡ世」カトリック司教協議会 広報委員会 企画製作 カトリック長崎大司教区 広報委員会



ミカエル薬屋は興善町の住民で、敵意に満ちた社会の中で追放、投獄、拷問に耐え、慈悲の行為

は迫害者に向けた静かな抵抗でもあった。ミカエルはときの組長、殉教者の未亡人、孤児、宣教師の援助活動も行った。1633年7月31日西坂の殉教地で、火あぶりの刑で愛の最後の証しを見せた。この年がミゼリコルディアの組を創立して50年目にあっていた。イエズス会のイルマン

捕らえられる。役人たちはニコラオに、「後悔することはない」と尋ねると「はい、將軍さまをはじめすべての日本人をキリスト信者に日本をキリスト国にしたい」と答えたという。

第12回 日韓司教交流会

去る11月14日、16日、第12回日韓司教交流会が、「司教養成」をテーマにテグ(大邱)教区黙想の家で開催された。韓国から18人、日本から15人の司教たちが参加。2日目午前特別講師ト・ホン(湯漢) 香港教区補佐司教が中国における司祭と修道女の養成について



て報告した。午後には韓国のクアンジュ(光州)とテグの大神学校についてジョンジュ(全州) 教区イ司教とテグのイ大司教、そして日本の東京と福岡の大神学校について梅村昌弘横浜司教がそれぞれ説明を行い、活発な質疑応答、分科会では共通課題である「司教養成」について真剣に学び合った。3日

司教 研修会

本年度の司教研修会が東京・高円寺教会の晴佐久昌英神父(写真)を講師に11月22日、大司教館で開かれた。福音を証していくのに「宣言」という言葉をキーワード

に取り上げて、「イエス・キリストに溢れているものは「宣言」する力である」と強調した。福音の本質を人に伝えるためには、私たちが「宣言」することである。神の宣言に倣って救いを求めている人に宣言するとき、そこに福音が実現する。福音の運び手である私たちは相手に神の愛が届くように宣言することである。



信仰養成講座

11月19日、青方教会1階の上五島地区センターにおいて、講師に葛嶋秀信神父(写真、大司教館)を招いて行われた。テーマは「結婚」。日本社会のみならず教会においても結婚に関する問題が増



えており、神父はいろいろな角度から結婚について話した。上五島地区の各小教区から参加した約50人の信徒、修道者は熱心に耳を傾け、メモを取っていた。信仰養成講座は今年3月まで、毎月第3日曜日、午後1時30分から午後3時(予定)まで行われる。

第15回 子供聖歌の集い開催!

昨年11月26日(日)、第15回子供聖歌の集いが役員と日常活動について意見を交わした。



浦上教会で行われた。13小教区345人の子供たちが、それぞれの小教区で練習してきた曲を、多くの信徒の前で発表した。

第4回 AsiPA 総会開催(インド)

3年に一度の総会が11月8日、15日、インドのケララ州で開催され、アジア・アフリカ・ヨーロッパの14カ国から約300人が集まった。「交わりの教会実現に向けての小共同体」をテーマに意見・情報交換、交

流(写真)など行った。日本からは長崎教区の4人、中村満師(教区小共同体推進室長)、長野宏樹氏(同推進室事務局長)、遠山満師(城山教会、フィリッパ・マツテュ師(西町教会)が参加した。AsiPAは、アジア司教協議会連盟が第2バチカン公会議の精神を実現していくために作成したプログラムで、1993



年にとスタート。長崎教区では現在、小共同体づくりの形でアシパプログラムに取り組んでいる。今大会を終え、これまでの「参加する教会」づくりからさらに前進し、「交わりの教会」づくりが目指される。

教区連合婦人会神学院へ寄付



大司教と懇談する婦人会

昨年11月26日、教区連合婦人会では指導司祭山内実師とともに森内千恵子会長をはじめとする役員9人が大司教館を訪れ、高見大司教に神学院への寄付金900万円を託した。

不動山殉教者祈念祭 宣教委巡礼部も参列

キリシタン迫害時代、佐賀県嬉野町の不動山へ逃れて来た信徒は300人ほどと伝わる。昨年11月12日、殉教者を偲(しの)ぶ祈念ミサがさげられた。不動山殉教者祈念ミサは、佐賀教会の主催で鳥栖教会のフランシス・マッ



ケイ神父、長崎から山内実神父(カトリックセンター)も共同司式に参加し、長崎教区からは宣教委巡礼部(写真)を含む約40人も参列した。司式したマツケイ神父は説教で「平成19年、殉教者188人の列福式が予定されていますが、その



昨年11月24日五島市聖マリア病院で帰天。98歳。1908年9月8日五島市戸岐町間伏(まぶし)生まれ。1933年奥浦修道院入会。47年、奥浦慈恵院福江分院に派遣される。57年初誓願、62年終生誓願宣立。慈恵院の子供たちと会員の生活を支える農耕に従事、傍ら伝道婦として奉仕した。福江修道院の院長補佐として長年共同体に仕えた。晩年は聖マリア病院および聖マリアの園で介護を受けながら、祈りの人として周囲の人に神さまの愛を伝えた。26日、福江教会で行われた。

上五島地区 合同堅信式

11月12日午後2時から上五島地区合同堅信式が青方教会で行われ、聖堂いっぱい信徒、修道者が集い、受堅者のために祈りと聖歌がさげられた。受堅者

小共同体づくり 入門講座始まる

入門講座(写真)が、11月19日(日)カトリックセンターで開幕した。



初日は「福音宣教とは」のテーマで中村満神父担当。2、3人のグループに分かれ、「信仰と生活の遊離」「教会と社会の遊離」などについて日常生活での信仰体験を分かち合った。講座は10回開かれるが、小共同体とは何か、

みことばの分かち合い、宣教する共同体などのテーマが組み込まれている。最終講座は平成19年3月4日。今年度の参加小教区申し込み者は、お告げのマリア修道会1を含む城山教会の10、聖母の騎士修道会4、師イエズス修道会1、西町司祭1、深堀4(うち司祭1)、八幡3、浦上1、中町1。同日は諫早市内で長崎北地区評議会主催の研修会も開催され、小共同体

の喜びを胸にキリストを伝えるために頑張ります」と力強くあいさつした。また合同堅信式にあわせ、一昨年から大司教による小教区公式訪問が行われている。今年は青砂ヶ浦、鯛ノ浦小教区で公式訪問とミサが行われた。



ろうあ者との初の出会

い。「1975年私が洗礼を受けるための勉強に旭川市内の教会に通っていたとき、その教会で素敵なご夫婦を見かけ、いくつか声をかけたが、そう思っミサにあずかっていたある日、近くに席が合

主和会の奉仕者

川尻 啓子さん



「数年前、ろう者との聖地巡礼に15日間出かけたこと。旅先では健聴者同士では味わえない体験を皆さんからいただいた」と感謝する。

最近、「長崎カトリック聴覚障害者の会」の会員減少がささやかれ勧誘の手段はいろいろありま

見る母国語です。ろう者のコミュニケーションの手段はいろいろありますが、まずはろう者と出会うこと。手話を習得された方は、ぜひ、生きた手話に変えてほしい」大村に越して来た当時、大村市の手話通訳協力員、植松、水主町、諫早の教会、佐世保サンタマリアの家と手話学習の手伝いをしていたが、仕事の都合で現在ではできる範囲の奉仕活動をしている。住まいは大村市武部町、水主町教会所属、家族3人。

第1部では、石田望神父(愛宕教会) 司式のもとみことばの祭儀が行われ第2部では教会紹介と聖歌が披露(写真)された。それぞれの工夫を凝らした演出が、聖堂に集まった人々を魅了した。今年は、子供たちの発表した歌を3人の博士にちなんで「お生まれになるイエスさまへの贈り物」と位置づけ、キリストのご降誕を祝うのにふさわしい準備の集いとなった。また、より優れた評価を受けた小教区の子供たちには、これも3人の博士にちなんで「ガスパル賞、メルキオール賞、バルタザール賞」が授与された。受賞したのは長与、時津、諫早の3教会。

原爆祈念式典で ハトを放つ今村勝己さん

「平和」の象徴――ハトに魅せられ1960年以来、育てたハトを毎年8月9日の「原爆犠牲者慰霊平和祈念式典」で放つ人がいる。

この人は長崎市大橋町でギャラリー・カフェを営む今村勝己さん(57、本原教会所属)。昨

年の平和公園で行われた長崎市長主催の原爆式典で長崎競翔連合会の会員が放った450羽のうち140羽



約1時間、水、餌を与え消化時間を考へての散歩とか。今村さんは、「毎年8月9日、私たちが放ったハトが空高く舞い上がった一瞬、『平和』の象徴として長崎市

光浴もできる部屋が5つに仕切られ、オス・メス1対で仲良く生活する個室もあり、朝夕の1回は、飼育室から解放され、半径1〜3キロを回遊して戻る。ハト

ルカ2章19節「マリアはこれらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた。」皆さんは、「新年のシンボルは」と聞かれたら何を思い出しますか。私は地平線のかたから昇る夜明けの太陽を思い浮かべます。カトリック信徒の新年は救いの曙(あけぼの)と呼ばれる「神の母聖マリア」の祭りで始まりま

す。マリアさまにはいろいろな呼称がありますが「神の母」の呼び名は、早くから愛されたたえられてきました。家庭でのおかあさんの存在と役割を考えれば、教会の中の聖母マリアさまの役割がよくわかると思います。

みことばにふれて

木口直恵 修道女
(お告げのマリア修道会)



カット 浜口真理子(城山)

もつと悲しくなる」自分には母親がいなくて、人として避けられないこと。暗い気持ちから立ち上がれそうになり、日々、勇気を出して祈ってください。十字架の上のキリストとその傍ら

母親に会ったことのない子供たちがその寂しさを次のように話しました。「おかあさんが一緒にいないご飯は、何かもの足りない。『おかあさんがここにいれば』と思うと、皆さんは人生で苦し

思っ大きくなつてほしいと願いました。母親を知らない寂しさをマリアさまが温かく包んでくださると伝えたかったからです。皆さんは人生で苦し

教区典礼委員会研修会

――佐世保市で開催――

昨年11月26日(日)教区典礼委員会主催の研修会が佐世保市の依町教会で行われた。テーマは「降誕祭を準備する」。信徒・修道士・司祭合わせて59人の参加があった。このテーマでの研修会は今回で3回目となる。そこで今回は趣向を変えて、降誕祭の歴史やそれを迎えるための準備について学んだ後、具体的な降誕祭の夜半

民の目に触れ、核廃絶の輪が広がっていくことを願っています。かつて伝書鳩は帰巢本能を利用して新聞社などで通信に使われたが、現在では通信機器の発達で、愛玩、白ハトリース、レースな

のミサにおける工夫や、その中で歌われる聖歌の紹介と練習があった。ことばの意味を考えて聖歌の選曲をした方がよいこと、そのことばを味わうためには沈黙を意識することなどの指導があった。参加者からは「降誕祭の精神などを理解してから準備をすると、降誕祭がこんなにも素敵なものになるのだと気付かれました。今後はいつもとは違う降誕祭を迎えられそうです」という声が聞かれた。

物資援助のお礼

昨年11月19日、平戸地区8小教会(18教会)の信徒の皆さまから長崎カトリック神学院に、新米約80俵、野菜、日用品など現金などがたくさん届けられました。信徒の皆さまの祈りのこもった厚志に、神学院一同心より感謝いたします。

クルシリヨ事務局長に 山川富士彰氏

クルシリヨ事務局(指導司祭三村誠一師)は昨年11月23日、任期満了に伴う事務局員の改選を行い、新事務局員に山川富士彰氏(時津)を選んだ。副事務局長は田中秀男(中町)書記 岩本正勝(香焼)会計 長浦ヒロ子(深堀)

スローフード世界大会で「ゆうこう」をアピール

――外海・日宇さん夫妻

父が伝えたといわれる香酸カンキツの新種「ゆうこう」を海外地区で栽培し、ゆうこうを使った料理や石窯パンづくりなどに取り組んでいる「フェルム・ド・外海」の日宇スギノ・英之さん夫妻(出津教会所属)らが、スローフード協会国際本部の招きで昨年10月26日から30日までイタリアのトリノ市で開かれた同協会の世界大会・食の祭典に参加した。会場のオリンピックスタジアムには世界各国から約5千人が参加、イタリア大統領も出席した。日宇さんらはゆうこうの英文チラシを配布、分

キリシタン史跡をさぐる――主和会――

「長崎さぐる博'06」は昨年10月で終了したが、11月19日にカトリック聴覚障害者の会・長崎支部の「主和会」は「キリシタン史跡をさぐる」巡礼を試みた。参加者は12人、浦上を起点に長崎駅近辺、新大工町から中島川沿いを通って長崎県庁までのコースを折り返し、浦上からいた。浦上から



長崎駅までは電車を利用、後は歩みなし。途中、疲れた人は、列を離れることも自由だったが落後者はなかった。各史跡12カ所では手話通訳の説明(写真)があ

新刊良書

★カトリック教会情報ハンドブック2007 中央協議会出版部編 毎年発行されているハンドブックの最新版。教会暦や住所録といった通常のデータの他に、巻頭には、「中国のカトリック教会―歴史、現状、展望」キリシタン史跡をめぐる―北海道・東北編」の2本の特集を組む。



前者は、理解困難な隣国の教会についての解説、後者は、各地の史跡を実際に訪れて綴るリポート



科会で紹介するなど、新しい特産物にと長崎市も

力を入れているゆうこうをアピールした。大会後は通訳として参加したローマ留学中の2女しのぶ修道女(宮崎カリタス修道女会)らと、ド・ロ神父の生地(フランス・ヴォスロール村)を訪問、歓迎をうけた。(写真は大大会参加の日宇さん夫妻、しのぶ修道女)

★THE STUDY BIBLE 新共同訳聖書 スタディ版

日本聖書協会頒布部旧約版スタディバイブルが登場。従来の新約聖書版スタディバイブルに旧約聖書が加わり、より深く聖書を学ぶことができる。聖書本文の脇に語句や歴史の解説、地図、年表、絵などを豊富に掲載。特別定価期間、07年3月末まで。上製本(クロス装) 9800円、並製本(紙装) 9500円。日本聖書協会 電話03-3567-1198 FAX 03-3567-1356

★ミサのあざかり方

目からウロコシリーズ第6編。来住英俊著。日々の生活とミサを通して信仰を育てる具体的な、実践的な提案をしています。私の毎日の、また、毎日曜日のごミサのあざかり方はどうでしょうか? 一考に価する本とお勧めします。女子パウロ会発行、840円。

雲仙の旅情やさしいおもてなし 殉教者の誓いの地

島原半島の巡礼ご宿泊にどうぞご利用下さいませ。

雲仙 有明ホテル

代表取締役 アントニオ 栗原 盾夫
女将 ルチア 栗原トシエ
TEL 0957-73-3206 FAX 0957-73-2254

砕石・栗石・港湾用捨石一式生産販売

たつみ産業株式会社 西田商事株式会社

代表取締役 ミカエル 西田 寛己
本社 〒857-1166 佐世保市木風町1468番地
TEL (0956) 31-8268

主の平安 カトリック式葬祭・飾付一式

(有) 栄光式典社

代表取締役 ハウロ 西村 勇夫
長崎市辻町7-18 TEL (095) 844-4011
24時間営業 FAX (095) 843-9896

写真・御絵・思い出など 彫刻

長崎石彫

ヨゼフ 岩永 博明
☎ (095) 862-2469

長崎市梁川町6-17 岩永ビル2F

石碑
納骨石工事
納骨堂分譲

御絵・御像・十字架
ロザリオ・メダイ・ベール
聖書・祈祷書・聖歌集...etc
信仰生活の必需品を多数
取り揃えております。
キリスト教書籍・用品専門店
サンパウロ 長崎宣教センター
TEL 095-841-8033 FAX 095-841-8034